第13回総合アレルギー講習会 実習詳細

学校でのアナフィラキシー対応指導法 ～専門医のための実践コース～

1. 目標：この実習に参加されたあなたは・・・

「学校からアナフィラキシー講習を頼まれたけれど、何をどう教えればよいのだろう？」「学校で実践的なアナフィラキシー講習を行いたいけれど、どのように進めればよいのだろう？」　そんな経験はありませんか？
学校でのアナフィラキシー対応では、知識を伝えるだけなく、教職員が緊急時に迷わず行動できるようにすることが重要です。本実習では、講義の進め方やアドレナリン自己注射薬・点鼻薬の指導法に加え、実践的なシミュレーション研修の企画・運営方法を学びます。医学教育の専門家から、訓練後の効果的なデブリーフィング（振り返り）の進め方を学べることも大きな特徴です。
「知識を伝える講習」から「実際に行動できるようにする講習」へ。学校現場で実践的なアナフィラキシー講習を、自信を持って実施できるようになることを目指します。
本実習を通じて、学校現場でのシミュレーション研修を積極的に実施できる専門医を増やし、アナフィラキシーへの対応力向上につなげることを目指します。

2. コンテンツ：この実習の内容は・・・

学校でのアナフィラキシー講習に必要な指導法を、実践的に学びます。

- **講義の組み立て方**：教職員に何を、どのように伝えるか。押さえておきたいポイントと伝え方のコツ
- **アドレナリン自己投与薬の使用指導**：自己注射薬・自己点鼻液の実技指導と、迷いや誤操作を防ぐための工夫
- **シミュレーション研修**：緊急時の判断や役割分担・アドレナリン投与までの対応を学ぶ模擬訓練の企画・進行方法
- **効果的なデブリーフィング**：訓練を「やって終わり」にしないために。医学教育の専門家から、参加者の気づきを引き出し、次の行動につなげる振り返りのコツを学びます。

さらに、学校での講習にそのまま活用できる講義用スライドと、アナフィラキシー発症時からアドレナリン自己注射薬の使用までの一連の対応を3つの場面を示した教育用動画も提供します。実習で学んだ内容を、各自が担当する学校での講習にすぐに活かしていただけます。


児童役